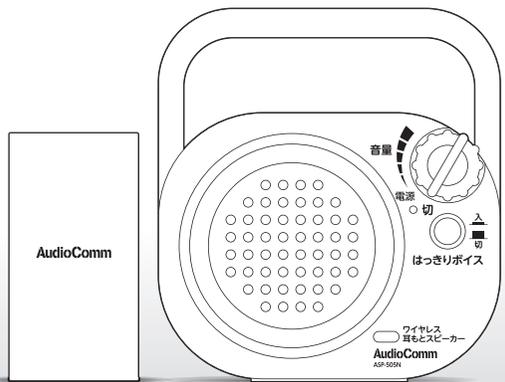


取扱説明書

ワイヤレス耳もとスピーカー

型番：ASP-505N 品番：03-2069



このたびは、AudioComm®ワイヤレス耳もとスピーカーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますよう大切に保管してください。

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータやプログラムの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店より受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

- 調子が悪いときは：修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。
- 保証期間中は：保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間が過ぎた場合は：修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

安全上のご注意

電気製品は正しく取り扱うことによって、安全にお使いいただけます。間違った使いかたは火災や感電による人身事故につながる場合があります。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

警告

以下を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されますので必ずお守りください。

- 心臓ペースメーカーを使っているときは、装着部位からスピーカー(受信機)及び送信機を22cm以上離す
 - ・電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。
- 医療機器の近くや航空機内で使わない
 - ・電波の影響で誤作動の原因となるおそれがあります。
- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐにスピーカー(受信機)及び送信機の電源を切る。スピーカー(受信機)から乾電池を取り外し、送信機のUSB電源コードも抜く
 - ・そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。
 - ・煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室にご連絡ください。
- 万一、内部に異物や水などが入った場合は、使用を中止する
 - ・そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
 - ・販売店または弊社お客様相談室にご連絡ください。
- 分解、修理、改造しない
 - ・火災・感電の原因となります。
- 付属のUSB電源コード以外の電源コードを使わない
 - ・火災や感電、機器の故障の原因となります。
- 雷が鳴り始めたら、スピーカー(受信機)、送信機、USB電源コードに触れない
 - ・落雷や感電の原因となります。
- 乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が乾電池を誤って飲み込むことがないようにする。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談する
 - ・乾電池は幼児の手の届かないところに保管してください。
- 自動車の中や直射日光の当たる場所、火のそばなどでは使用しない。また絶対に放置しない
 - ・発熱、破裂、発火の原因となります。

電波(無線機能)に関する注意事項

本機の機器認定について

本製品は電波法にもとづく小電力データ通信システムの無線設備として認証を受けていますので、ご使用にあたって無線局の免許は必要ありません。ただし、本機を分解・改造する行為、本機に印字してある定格表示を消したりする行為は、法律により罰せられることがあります。



本製品は日本国内でのみ使用できます。

使用周波数と注意事項

本製品の使用周波数帯(2.4GHz帯)では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許が必要)、Bluetooth機器を含む特定小電力無線局(免許が不要)、及びアマチュア無線局(免許が必要)が運用されています。

- 1.ご使用の前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、及びアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2.本製品の使用により、万一、移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに送信機及びスピーカー(受信機)の電源を切ってください。そのうえでお客様相談室にご連絡いただき、混信回避のための処置(例えばパーティションの設置など)についてご相談ください。
- 3.そのほか、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合や、ご不明点がございましたら、当社お客様相談室(裏表紙)までお問い合わせください。

通信可能範囲について

送信機とスピーカー(受信機)の最大通信距離は約10mですが、人体、壁、金属などの障害物の有無などによって有効範囲が変化します。できるだけ障害物がない空間でご使用ください。

注意

以下を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定されますので十分ご注意ください。

- 乾電池を入れるときは極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、表示どおり正しく入れる
 - ・間違えると、乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 指定以外の乾電池は使用しない。また、古い乾電池と新しい乾電池、種類の異なる乾電池(例：アルカリとマンガン)と一緒に使わない
 - ・乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 振動や衝撃の多い場所、ぐらついた台の上、傾いた場所など、不安定な所に置かない
 - ・落下してけがをする可能性があります。また、破損・故障の原因となります。
- 水飛まつのかかる場所や、湿気やほこりの多い場所に置かない
 - ・火災・感電の原因となることがあります。
- 長時間、大音量で聴き続けない
 - ・周囲の迷惑になったり、聴覚に悪い影響を及ぼすおそれがあります。
- 落としたり、重いものを載せたりしない。また、強いショックを与えたり、圧力をかけたりしない
 - ・故障や破損の原因になることがあります。
- 長期間本機を使わないときは、安全のため必ず乾電池を取り外す
 - ・火災・液もれの原因となることがあります。
- シンナーやベンジン、アルコールなどで拭かない
 - ・変形や変色の原因となります。
- 日本国以外では使用しない
 - ・本製品は日本国内専用です。海外では国によって電波使用制限が異なるため、本製品を使用した場合、罰せられることがあります。

医療機器近くでの使用に関する際は、特に注意してください

- 本機を使用中に気分が悪くなった場合は、ただちに使用を中止してください。
- 病院内など無線機器の使用を禁止された区域では、本機の電源を切ってください。また、無線機器の使用が制限された区域では、施設管理者などに確認のうえ使用してください。他の機器に悪影響を与えたり、事故の原因となります。
- 医療機器及び人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下では絶対に使用しないでください。
- 植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している場合は、装着部から本機を22cm以上離して携行及び使用してください。電波によりペースメーカー及び除細動器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。
- 混雑している場所では、周囲に植込み型心臓ペースメーカーまたは植込み型除細動器を使用している人がいる可能性がありますので、ご使用の際は十分にご注意ください。
- 医療機関内では次のことを守ってください。
 - ・手術室、集中治療室(ICU)、冠動脈疾患監視病室(CCU)には持ち込まない。
 - ・病棟内では本機を使わない。
 - ・ロビーなどでも、周囲に医療機器がある場所では電源を切る。
 - ・その他、医療機関による使用制限や使用禁止指示は必ず守る。
- 植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している方で、自宅などでの療養中の方は、本機をご使用になる前に、電波による影響について個別に医療機器メーカーなどにご確認ください。電波により医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

乾電池を安全にお使いいただくために

液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

| | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・火中への投入、加熱、分解をしない ・取り外した乾電池を幼児に触らせない ・ショートさせない ・直射日光や火などの過度の熱にさらさない |
|--|--|

| | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・⊕⊖の表示どおりに入れる ・指定以外の乾電池を入れない ・使用推奨期限内の乾電池を使用する ・古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池と一緒に入れない ・使い切った乾電池はすぐに取り出す ・しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく |
|--|--|

- 万一、液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
- 万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。
- 使用済みの乾電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがあるときにはそれに従って廃棄してください。

主な仕様

●送信機

| | |
|---------|--------------------------|
| 電 源 | DC5V(microUSB給電) |
| 変 調 方 式 | GFSK |
| 送信周波数帯 | 無線2.4GHz帯 |
| 最大通信距離 | 約10m |
| 入 力 端 子 | φ3.5mmステレオミニジャック |
| 外 形 寸 法 | 幅52×高さ100×奥行14mm(突起物含まず) |
| 質 量 | 約43g |

●スピーカー(受信機)

| | |
|---------|-----------------------------|
| 電 源 | DC4.5V 単2形乾電池×3本(別売) |
| 実用最大出力 | 約0.5W×1 |
| スピーカー | 口径66mm×1 |
| 乾電池持続時間 | 約49時間 |
| 外 形 寸 法 | 幅138×高さ151×奥行78.5mm(突起物含まず) |
| 質 量 | 約288g(乾電池含まず) |

●付属品

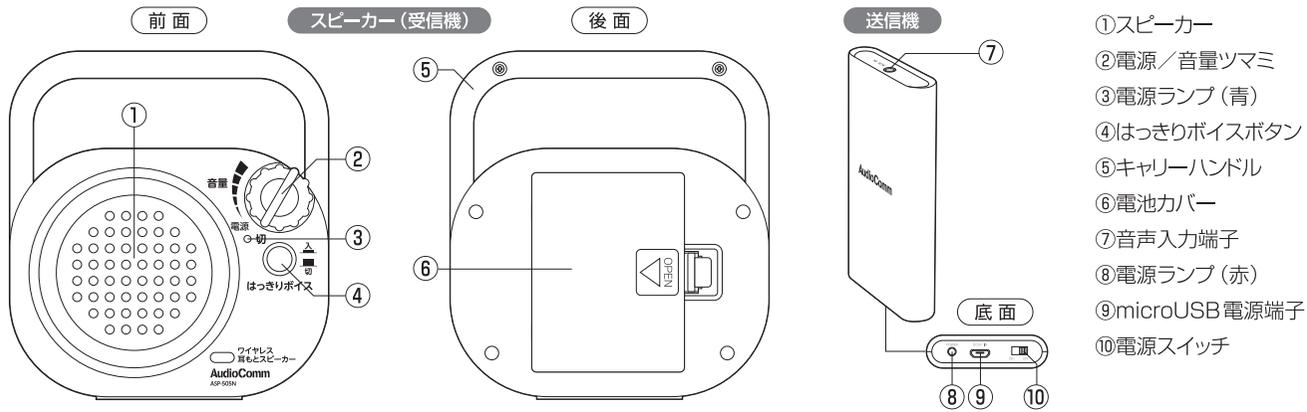
USB電源コード(USB Type-A → microUSB)、φ3.5mmステレオミニプラグコード、RCA変換コード、USB-AC電源アダプター、保証書、取扱説明書

※外観、仕様は予告なく変更することがあります。
 ※乾電池持続時間は、アルカリ乾電池新品使用時(音量中程度)の目安です。入力音量の大小など、使用環境により異なります。
 ※本書のイラストは、実際の製品と一部異なる場合があります。

お手入れのしかた ※必ず電源を切ってから行なってください。

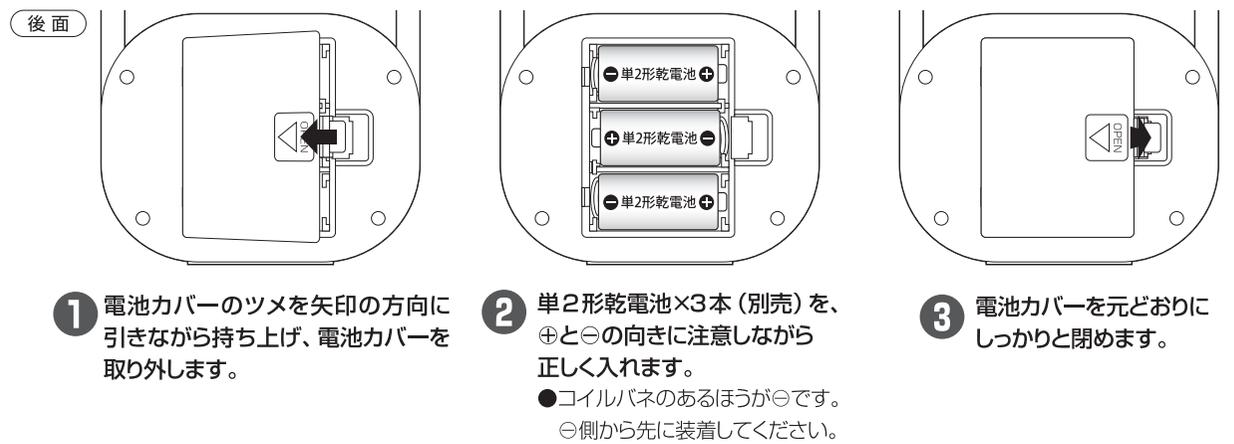
- 表面が汚れたら、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後、から拭きをしてください。
- シンナーやベンジン、アルコールなどは使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。

各部の名称



- ①スピーカー
- ②電源／音量ツマミ
- ③電源ランプ（青）
- ④はっきりボイスボタン
- ⑤キャリアハンドル
- ⑥電池カバー
- ⑦音声入力端子
- ⑧電源ランプ（赤）
- ⑨microUSB電源端子
- ⑩電源スイッチ

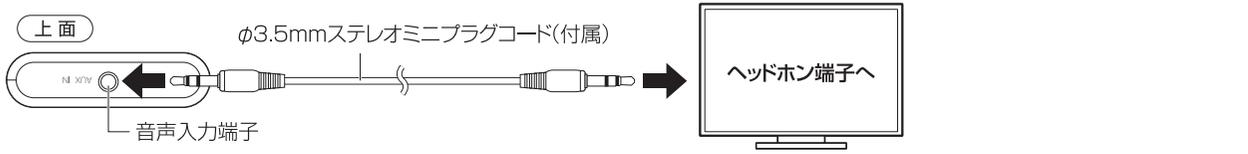
スピーカー（受信機）：乾電池の入れかた



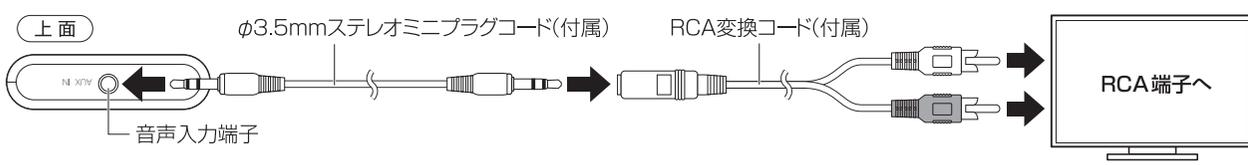
- 1 電池カバーのツメを矢印の方向に引きながら持ち上げ、電池カバーを取り外します。
- 2 単2形乾電池×3本（別売）を、⊕と⊖の向きに注意しながら正しく入れます。
●コイルバネのあるほうが⊖です。
○側から先に装着してください。
- 3 電池カバーを元どおりにしっかりと閉めます。

送信機：接続のしかた

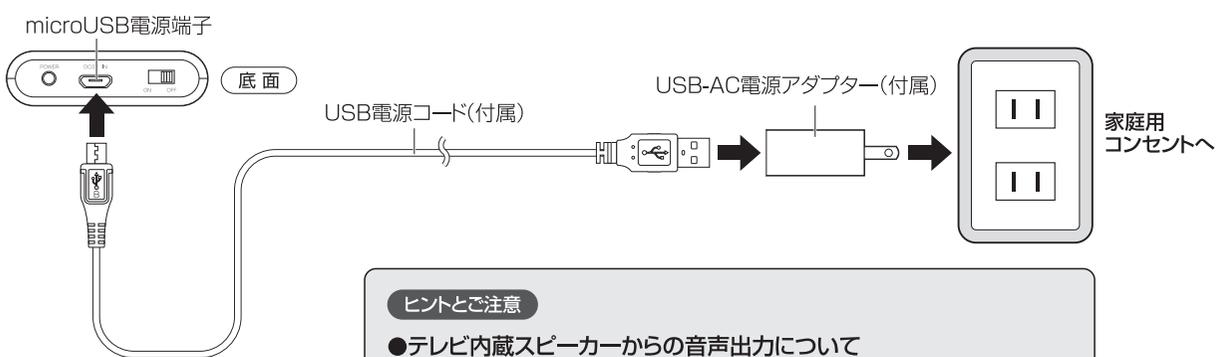
- 1 送信機の電源が切れていることを確かめます。付属のφ3.5mmステレオミニプラグコードを使って、送信機の音声入力端子と、テレビのヘッドホン端子（φ3.5mmステレオミニジャック）をつなぎます。



テレビのRCA端子に接続したいときは、RCA変換コード（付属）を介してつないでください。
●RCA変換コードの赤／白のプラグを、それぞれテレビの同じ色の音声出力端子につないでください。



- 2 付属のUSB電源コードとUSB-AC電源アダプターを介して、送信機のmicroUSB電源端子と家庭用コンセントをつなぎます。

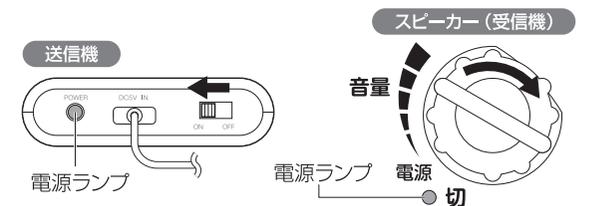


ヒントとご注意

- テレビ内蔵スピーカーからの音声出力について**
多くのテレビの場合、ヘッドホン端子接続時は内蔵スピーカーから音は出ない、RCA端子接続時は内蔵スピーカーからも音が出る、といった設定になっていますが、機種によっては本機接続中でも、内蔵スピーカーからの音声出力（オンまたはオフ）を切り換えることができます。詳しくはテレビ付属の取扱説明書などをご参照ください。
- 設置するときは、送信機を、テレビの前などスピーカー（受信機）との間に遮蔽物がない場所に置いてください。テレビの背面などに置くと、無線電波が弱くなり、音が途切れたり、ノイズが入ったりするおそれがあります。

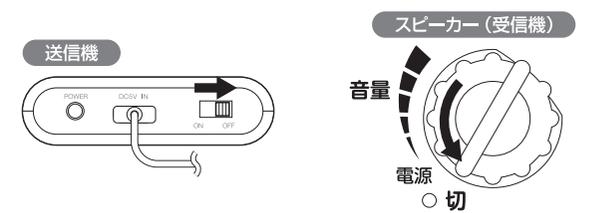
使いかた

- 1 テレビの電源を入れ、ご覧になりたいチャンネルに合わせます。
●テレビ側の音量は適正に調節してください。
- 2 送信機の電源を入れます。その後、スピーカー（受信機）の電源／音量ツマミを時計回りに回して電源を入れ、さらに回して音量を調節します。
●電源／音量ツマミを回すと、カチッと音がして電源が入ります（送信機とスピーカーが自動的に接続されます）。
●音量調節は本機、テレビの双方で可能ですが、テレビ側の設定を大きくしすぎないでください。本機との接続を解除したとき、テレビの音量が大きくなりすぎるおそれがあります。
- 3 終了するときは、スピーカー（受信機）の電源／音量ツマミを反時計回りに最後まで回して、電源を切ります。その後、送信機の電源も切ります。
●電源／音量ツマミはカチッと音がするまで確実に回してください。電源が切れると、電源ランプも消灯します。
●テレビとの接続を解除するときは、必ずテレビの電源も切ってから行ってください。



送信機・スピーカー（受信機）の電源ランプ動作

| 電源入時 | 接続先検索中 | 接続完了 | 電源切 |
|------|--------|------|-----|
| 点滅 | 速く点滅 | 点灯 | 消灯 |



故障かなと思ったら

- 電源が入らない**
【スピーカー（受信機）】
●乾電池は正しく入っていますか（⊕⊖の向きは正しいですか）。
●乾電池が消耗していませんか。
【送信機】
●USB電源コードが外れていたり、接続がゆるんだりしていませんか。
●付属品ではないUSB-AC電源アダプターを使っていませんか。
- 音が出ない・音が小さい**
●テレビの音量が最小または消音になっていませんか。
●正しく選局されていますか。
●乾電池が消耗していませんか。
●テレビの音声出力設定は正しいですか（ヘッドホン接続時や外部音声出力時の設定を、テレビ付属の取扱説明書などでご確認ください）。
- 雑音が入る**
●送信機とスピーカー（受信機）の間に遮蔽物がありませんか。双方の距離が離れすぎていませんか。
●スピーカー（受信機）の乾電池が消耗していませんか。
●近くで携帯電話などを使用していないか（携帯電話から離してお使いください）。

ヒントとご注意

- はっきりボイスについて**
はっきりボイスとは、人の声の周波数帯域を強調し、聞き取りやすくする機能です。映画やドラマの会話、ナレーション、ニュースアナウンサーの声などが聞き取りにくいときは、はっきりボイスボタンを「入」にしてお楽しみください。もう一度押し込んでから指を離し、「切」にすると解除されます。
- テレビの電源を切っても、送信機・スピーカー（受信機）の電源は自動的に切れませんのでご注意ください。
- 長期間使わないときは、液もれを防ぐためスピーカー（受信機）の乾電池を取り外してください。
- 乾電池が少なくなると、スピーカー音が小さくなったり、雑音が多くなったりします。そのような状態になったら、早めに新しい乾電池と交換してください。

